

平成29年度行政評価に係る外部評価意見概要

平成29年8月24日（木）

1-① 介護予防普及啓発事業

- ・事業で作成しているパンフレットを市内全体に配布した方がよいのではないか。
- ・介護予防が普及して健康な人が増えれば医療費が抑制され、結果、行政改革に結びつくのでこういった事業はどんどん実施してもらいたい。
- ・高齢者本人への啓発だけでなく、高齢者へ食事を作る方、健康管理をする方、そういう方たちへの協力も視野に入れた事業展開をお願いしたい。

1-② 姉妹都市宿泊助成事業

- ・実情として茅野市では諏訪方面、旭市では房州や銚子方面に観光客が流れてしまうので、宿泊とは違った部分の助成を考えてみたらどうか。
- ・旭市から茅野市へ行く人に比べて茅野市から旭市へ来る人が少ないので、茅野市から旭市へ来てもらう方策やPRを考えてみてはどうか。

1-③ 不法投棄防止活動事業

- ・監視カメラを設置する際は、抑止という意味で監視しているということを大きく表示した方がよいのではないか。
- ・ゴミが捨てられている場所は、ゴミが捨てられやすい場所になるので、地域ごとに自分の住む所だけでもきれいにするような啓蒙がうまくできればよいのではないか。
- ・警告看板をもっと増やしてはよいのではないか。
- ・産廃銀座とこの地域が呼ばれている現状であれば、他の事業に優先して監視カメラ設置並の予算を確保することを検討するべきではないか。

1-④ 育英資金給付事業

- ・旭市のためという目的であるならば、何らかの縛りがあってもよいのではないか。例えば旭に帰ってくるならば給付でよいが、何らかの事情でそのまま帰ってこれないのであれば貸与という形でもよいのではないか。縛りがあるならばもっと給付してもよいのではないか。
- ・例えば中央病院の医師不足に対して医師を育てると考えたときに、現状の旭市の給付額で果たして医大に行けるのか、この制度が魅力的なものなのかどうか今一度検討が必要なのではないか。

2-① 移住支援等の情報発信

- ・ワンストップ支援としているが、各支援策については各課へ案内をしている状況なので、本来の意味でのワンストップになっていないのではないかな。
- ・市HPの移住定住関連のページへのアクセス数をカウントして状況把握することが必要ではないかな。
- ・専門家によるPRの強化をしてみてはどうか。
- ・千葉県HP等で他市が空き家支援情報を掲載している中、旭市は空き家支援情報を掲載していないので空き家支援情報を掲載した方がよいのではないかな。
- ・各セミナーに参加している中で、他市の大学や企業等に対する成功事例を参考に旭市でも活用していただきたい。
- ・今後の方向性を現状維持としているが、人口増に向けて事業を拡大としてもよいのではないかな。

2-② 田園環境保全事業

- ・休耕田対策としてコスモスやホタル、河津桜等に関する活動を実施しているが、休耕田対策としては必要以上の対策を行っているのではないかな。
- ・ホタルや河津桜が観光に役立っていないのではないかな。
- ・例年、同じ団体へ補助金を支給している状況は、見直しを考えていく必要がある。
- ・補助の期限を決めて団体が自立していけるよう促していくことが必要ではないかな。
- ・例年同じ団体だけでは休耕田がある他の地域と不公平感がうまれているのではないかな。
- ・コスモス祭りに関するPRをもっと積極的に行ってはどうか。

2-③ 中小企業金融対策事業

- ・中小企業が本制度を活用したことによって、その中小企業にどのような効果がうまれたのか効果を把握してみてもどうか。
- ・市では利子補給事業も実施しており、銀行のリスクを市で肩代わりしているような状況であるため、リスクを考慮し、事業費については全予算内でのバランスを考慮していただきたい。
- ・事業の評価については、利子補給事業と併せて評価するべきである。

2-④ 成人式開催事業

- ・成果指標にある新成人参加率が年々低下しているため、参加率の低下について重く受けとめ、低下理由を把握することが大事である。
- ・新成人による成人式の実行委員会を立ち上げたことから、実行委員へなぜ参加率が低下しているか意見を聞くべきである。
- ・実行委員会に対して市で決まった式典の流れの中で実行委員に役割分担するのではなく、実行委員会に権限をもたせて式典の企画段階から実行委員の意見を取り入れていってはどうか。
- ・参加率が低いと将来的に定住等にもつながりにくいことから、帰ってきやすいまちづくりをしていってはどうか。